



2024年 12月期 第2四半期

決算説明資料

コ－ユ－レンティア株式会社

2024年8月27日
証券コード：7081

1. 2024年12月期 第2四半期 決算概要 P2
2. 2024年12月期 通期業績予想 P22
3. トピックス P26

第2四半期 累計業績

通期業績予想に対し、売上高進捗率52.7%、営業利益進捗率44.6%と、売上は順調に推移するものの、利益はやや遅れ

- 売上高は前年同期比11.0%増、全セグメントにおいて前期比増収し、第2四半期累計として過去最高
- 償却原価の増加による総利益減少に加え、人件費の増加により営業利益減少

第2四半期 トピックス

- 「2025年大阪・関西万博」(以下、関西万博) グループ横断のプロジェクトチームを設置
- 人的資本充実に向け、全社対象の「エンゲージメントサーベイ」を実施
- オフィスソリューション市場の営業強化と、ウェルビーイングを意識した「ライブオフィス」を開設

通期 業績予想

- 売上はレンタル関連事業が牽引し、堅調に推移
- 償却原価などの売上原価や運搬費、人件費などの販管費の増加が見込まれる豊富な受注と価格転嫁により利益確保を目指す

2024年12月期 第2四半期 連結業績 (P/L)



(単位：百万円)

	2023年12月期 第2四半期		2024年12月期 第2四半期		前年同期比		通期業績 に対する 第2四半期 進捗率
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	
売上高	14,719	100.0%	16,333	100.0%	1,614	11.0%	52.7%
売上総利益	6,284	42.7%	6,328	38.7%	43	0.7%	49.1%
販管費	4,842	32.9%	5,169	31.6%	327	6.8%	50.3%
営業利益	1,442	9.8%	1,159	7.1%	△283	△19.6%	44.6%
経常利益	1,461	9.9%	1,171	7.2%	△290	△19.9%	45.0%
特別利益	61	0.4%	0	0.0%	△60	△99.0%	—
特別損失	0	0.0%	3	0.0%	2	484.7%	—
当期純利益	873	5.9%	640	3.9%	△233	△26.7%	38.8%
EPS	161.42	—	116.85	—	—	—	—
EBITDA	2,314	—	2,228	—	△85	△3.7%	—

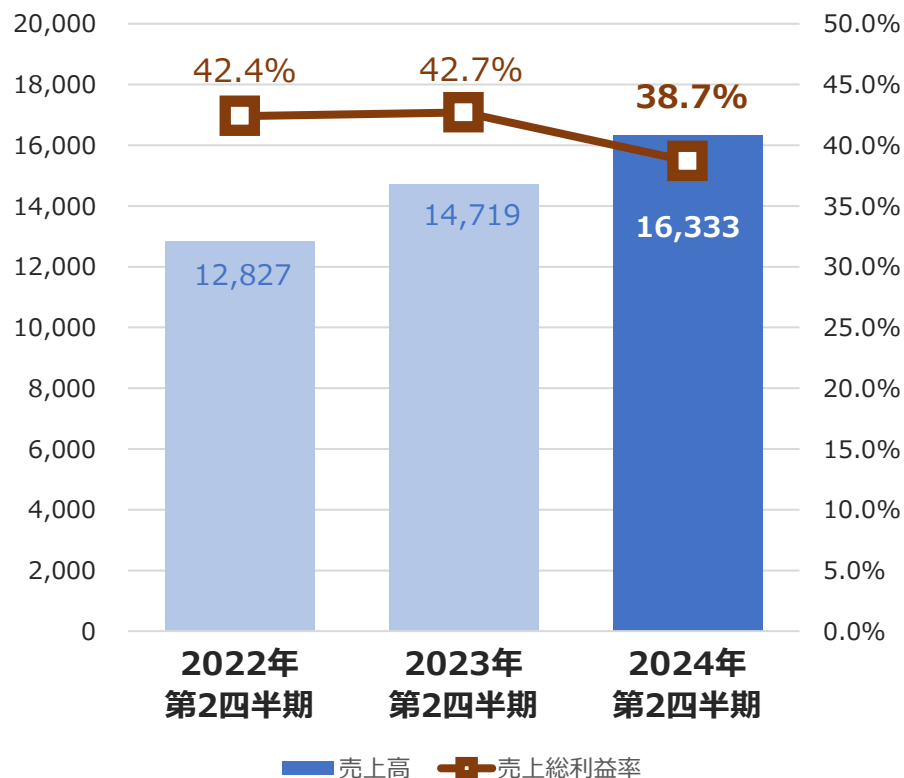
2024年12月期 第2四半期決算の概要

- 戦略商品を用いた付加価値の提案や新規市場の開拓が増収に寄与
- 戦略商品への先行投資による償却原価の増加と、人件費等の販管費の増加が影響し減益

※戦略商品：高付加価値で、差別化が図れる機能性やデザイン性を重視した商品等

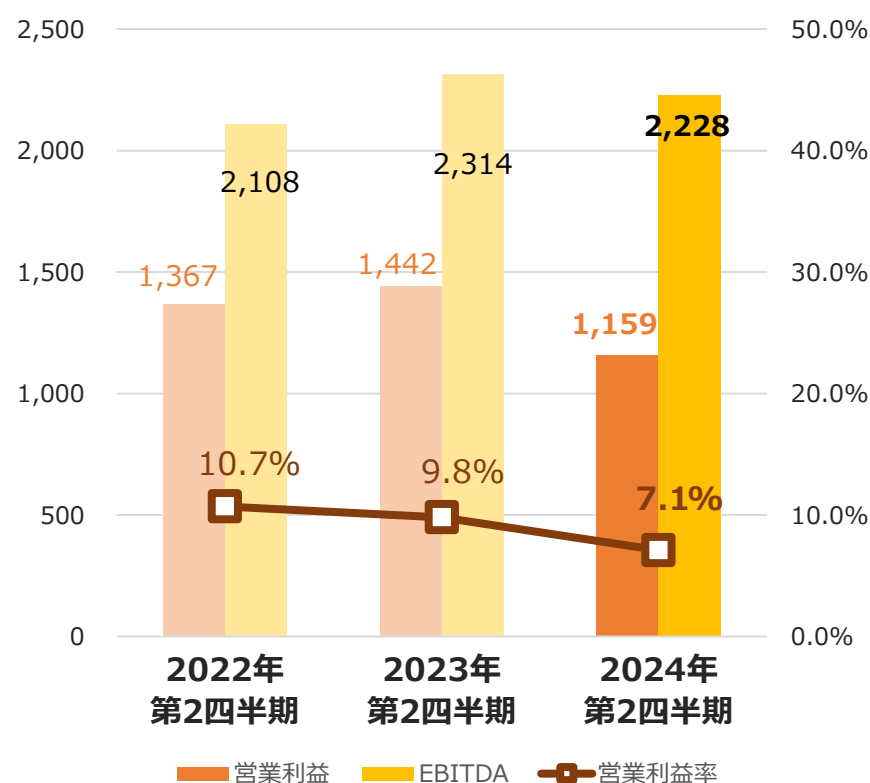
売上高・売上総利益率

(単位：百万円)



営業利益・EBITDA・営業利益率

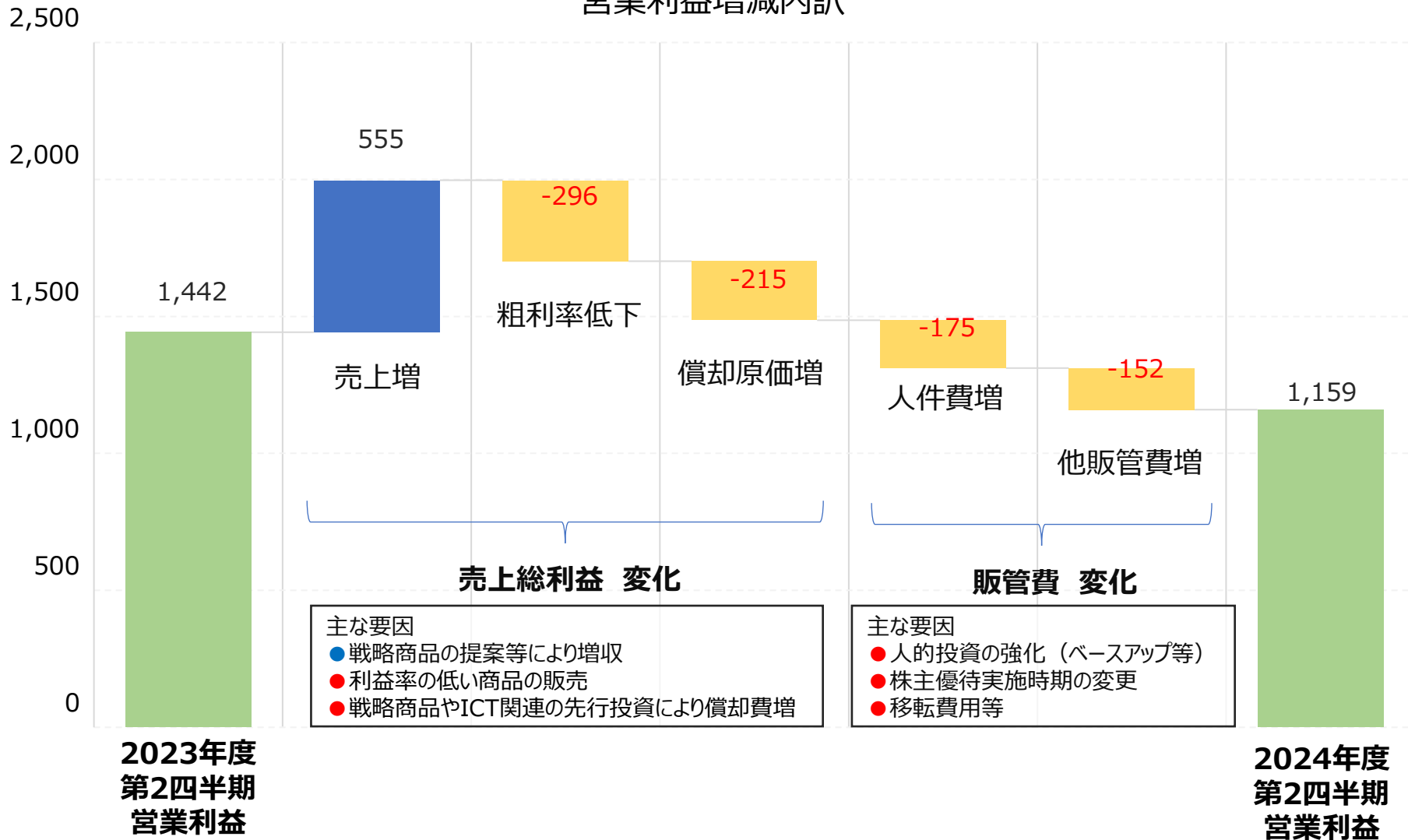
(単位：百万円)



2024年12月期 第2四半期 営業利益増減の内訳

(単位：百万円)

営業利益増減内訳



2024年12月期 第2四半期 セグメント業績

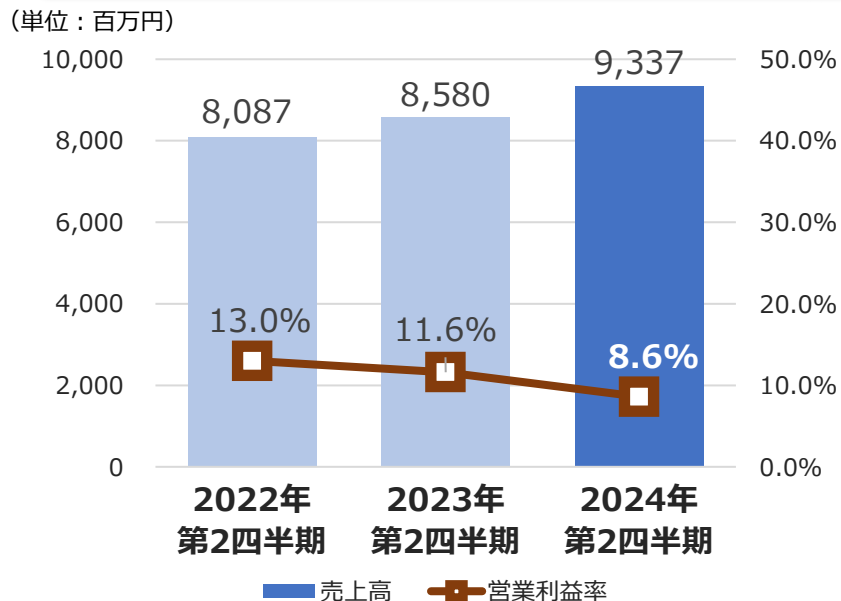
(単位：百万円)

	2023年12月期 第2四半期		2024年12月期 第2四半期		対前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	14,719	100.0%	16,333	100.0%	1,614	11.0%
レンタル関連事業	8,580	58.3%	9,337	57.2%	756	8.8%
ICT事業	1,952	13.3%	2,028	12.4%	75	3.9%
スペースデザイン事業	2,585	17.6%	2,880	17.6%	294	11.4%
物販事業	1,599	10.9%	2,087	12.8%	487	30.5%
営業利益	1,442	100.0%	1,159	100.0%	△283	△19.6%
レンタル関連事業	993	68.9%	805	69.5%	△187	△18.9%
ICT事業	232	16.1%	157	13.6%	△74	△32.0%
スペースデザイン事業	112	7.8%	100	8.6%	△11	△10.7%
物販事業	104	7.2%	94	8.2%	△9	△9.0%
営業利益率	9.8%	—	7.1%	—	—	—
レンタル関連事業	11.6%	—	8.6%	—	—	—
ICT事業	11.9%	—	7.8%	—	—	—
スペースデザイン事業	4.3%	—	3.5%	—	—	—
物販事業	6.5%	—	4.5%	—	—	—

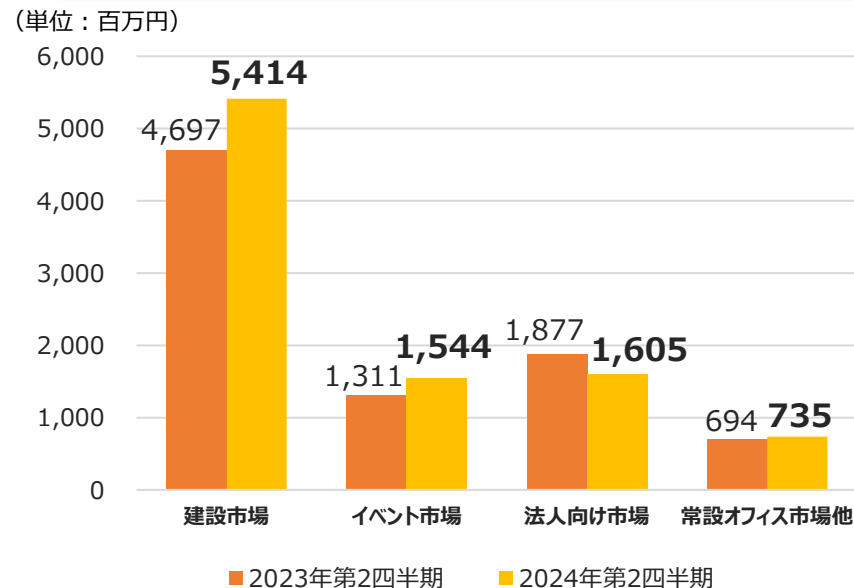
セグメント業績 ①レンタル関連事業

- 建設・イベント市場の受注が好調に推移するものの、償却原価の増加により利益率が低下
 - **建設現場向け市場**
 - ・全国的に新規受注件数や既存現場の追加受注により、堅調に推移
 - **イベント向け市場**
 - ・新型コロナウイルス流行前の水準に回復。音楽フェスは例年を上回る規模となり、増収に寄与
 - **法人向け市場**
 - ・新規のオフィス案件が出件したものの、新型コロナウイルス関連が縮小し、売上は減少
 - **常設オフィス向け市場 (移転、片付け、リユース販売等)**
 - ・事業所の統廃合に伴う大型の買取、廃棄案件の受注により、概ね計画通りに推移

売上高・営業利益率 (第2四半期)



市場別 売上高



➤ 建設業界の「働き方改革」に伴い、快適さや生産性の向上に寄与



● 設備会社T社 某建設現場事務所

業種：空気調和設備 設計・施工等

施工内容：内装工事・FF&Eレンタル

照明と床にこだわった快適空間を創出

- ・温かみのある電球色の照明
- ・木目調のフローリング

● 建設会社S社 某建設現場事務所

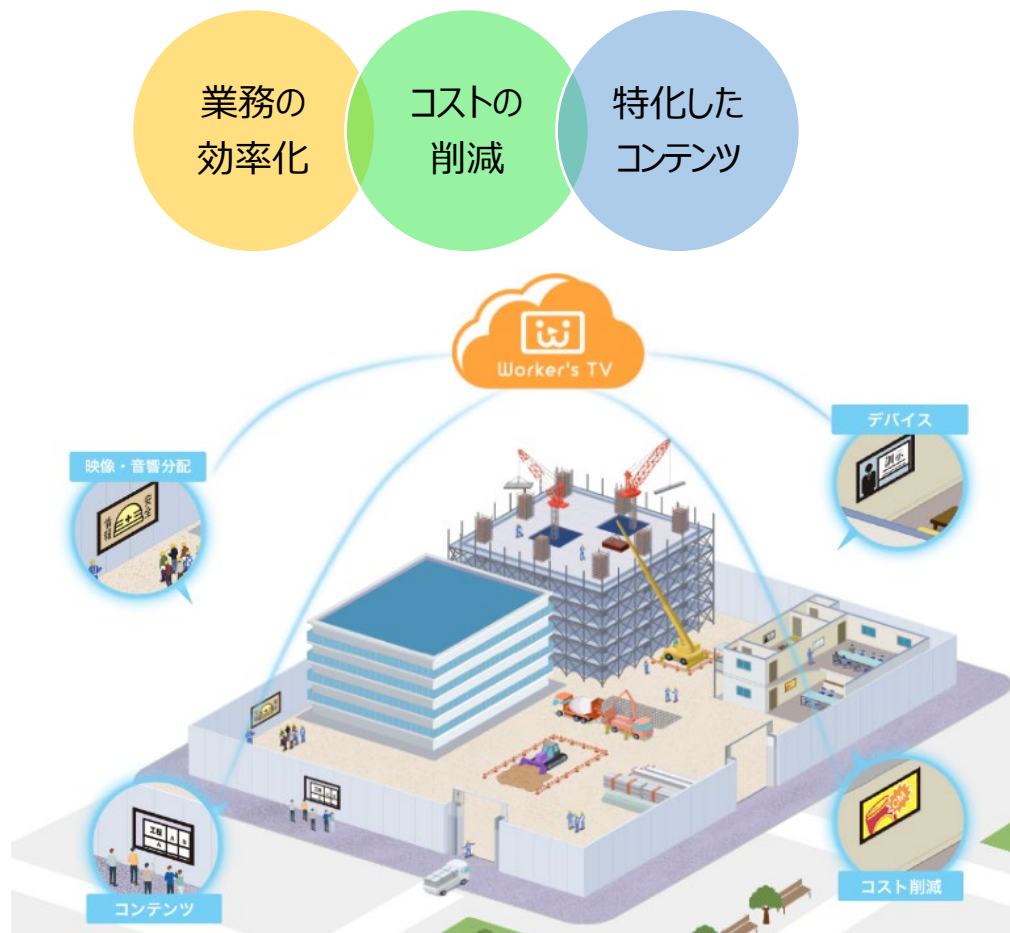
業種：建築・土木等建設工事の請負等

施工内容：FF&E販売

環境にやさしく、機能性の高い職場環境を実現

- ・壁に埋め込んだ大型モニターによりペーパーレスを推進
- ・全席にフリーアドレスを導入

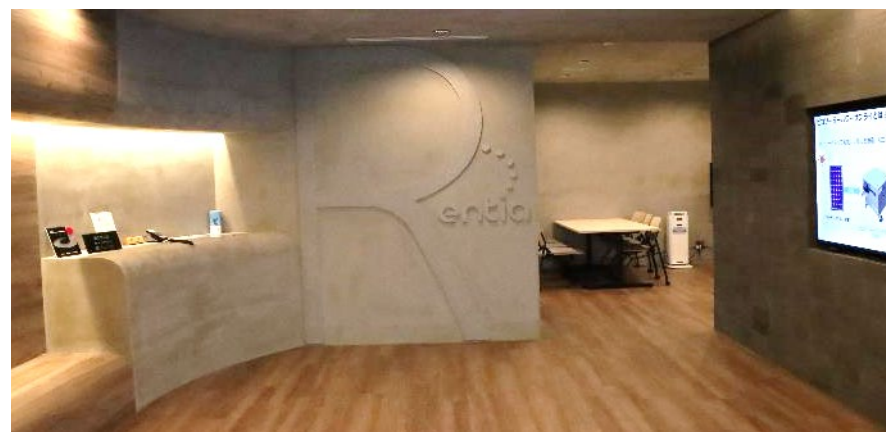
➤ 「クラウド型サイネージ」の導入により、分散朝礼や”建設現場に特化したコンテンツ”の配信を実現



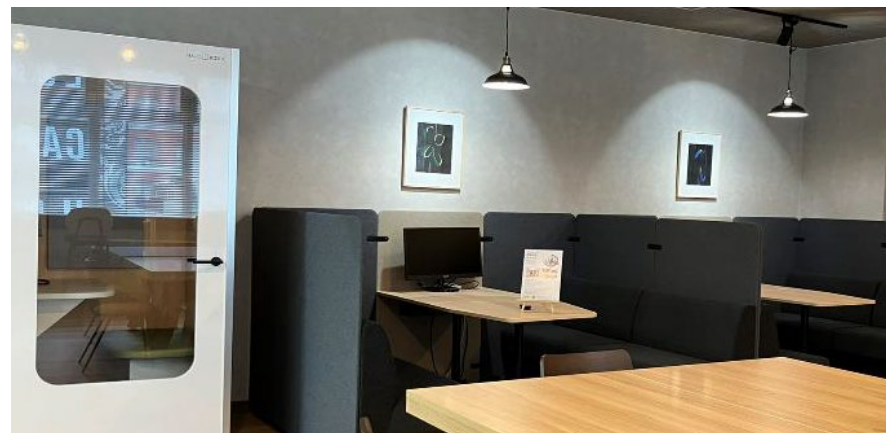
- 2024年5月、東京都港区に「ライブオフィス」を開設
オフィスソリューション市場の営業強化とウェルビーイングを意識した提案型のオフィスを構築



テーマ別にオフィスをコーディネート 「遊べるペオフィス」



受付に大画面の液晶モニターを設置



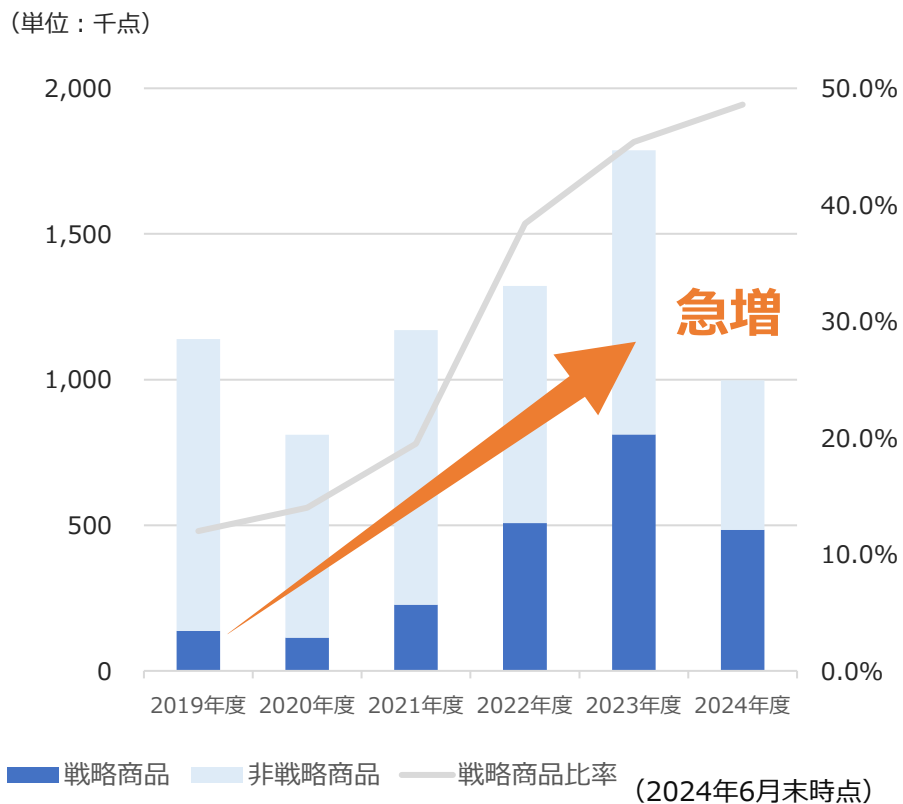
コンセプトに合わせた空間 「こまれるオフィス」、「アートなオフィス」

【ご参考】 レンタル関連事業：戦略商品数・稼働率の推移

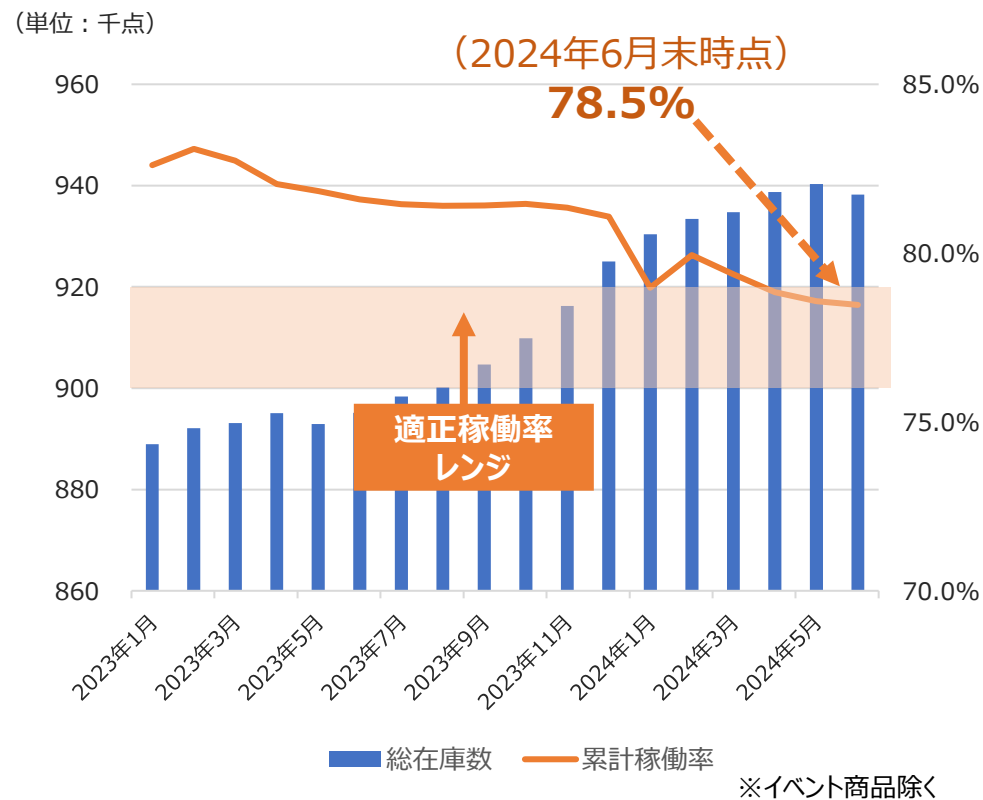
- 戦略商品の拡充により、新たな顧客ニーズを開拓し、利益率の向上を実現
- 計画的な運用管理や投資の実践で稼働率は適正水準で推移

※戦略商品：高付加価値で、差別化が図れる機能性やデザイン性を重視した商品等

戦略商品数の推移



稼働率の推移

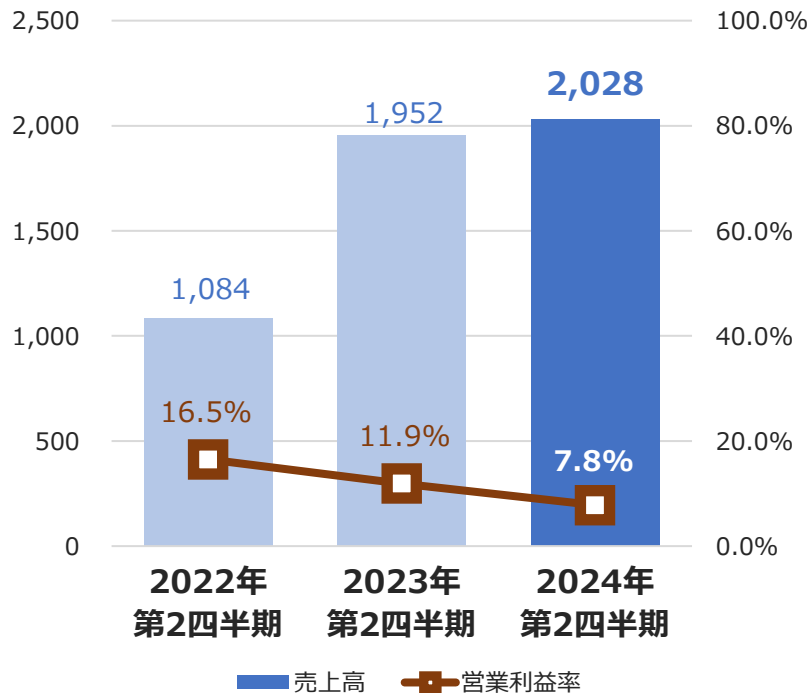


セグメント業績 ② ICT事業

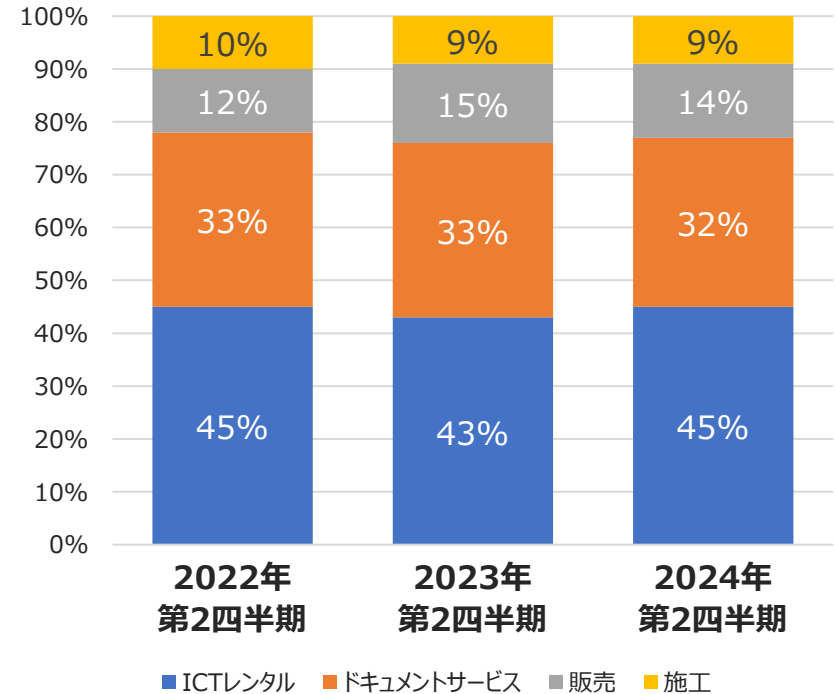
- 業務提携の強化により、ネットワークやセキュリティ案件が好調に推移
- 将来を見据えたICTデバイスへの先行投資により、償却原価が増加
- 大型BPO案件終了に伴う稼働率の低下による固定費のかぶり

売上高・営業利益率（第2四半期）

(単位：百万円)



セグメント別売上比率



- コーユーノテックスが「Game 8※」でeスポーツ業界を担う注目企業として取り上げられる
※月間4億PVの日本最大級のゲーム攻略サイトを運営
- 教育関係者が集結する展示会に出展。eスポーツ導入支援サービスの提供を開始

ゲーム攻略サイト「Game 8」にて、企業紹介



掲載日：2024年7月1日

内 容：eスポーツイベントの裏側を支える
コーユーノテックスの仕事内容や制度を紹介

「NEW EDUCATION EXPO2024」に出展



【東京】日時：2024年6月6日～8日

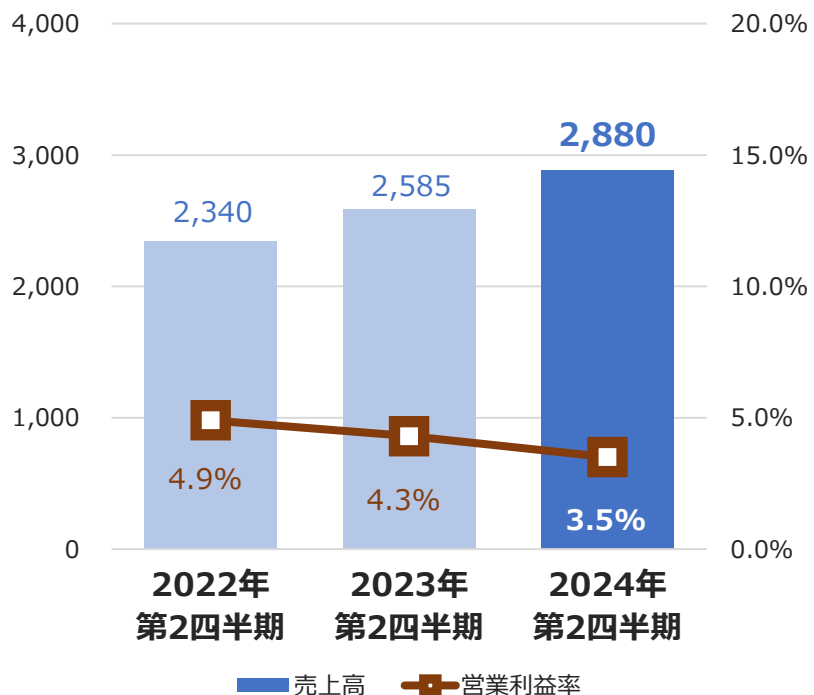
【大阪】日時：2024年6月14日～15日

セグメント業績 ③スペースデザイン事業

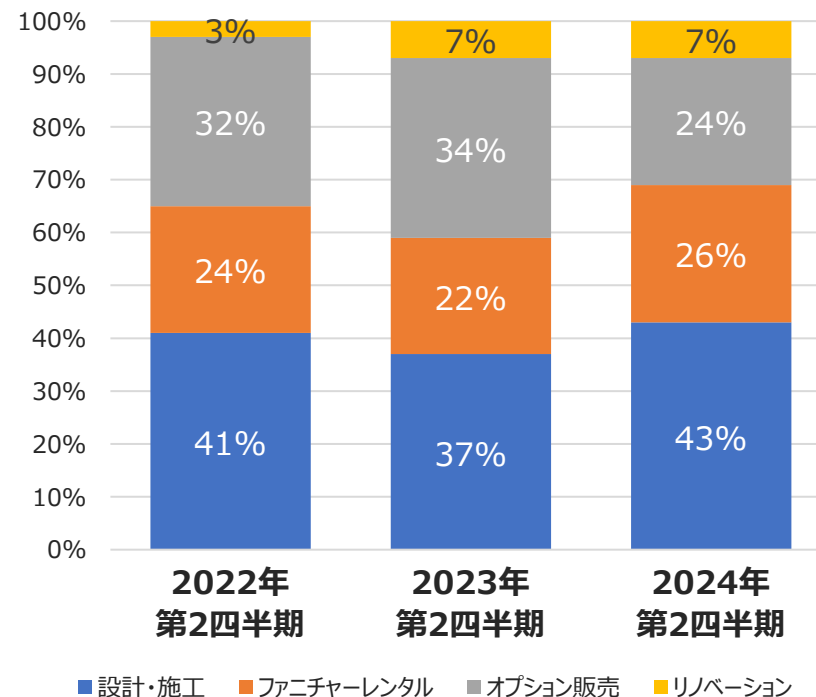
- インテリアオプション販売が好調に推移
- 「関西万博」のパビリオン建設が売上に貢献
- 人件費等の販管費増加により営業利益率が低下

売上高・営業利益率（第2四半期）

(単位：百万円)



セグメント別売上比率



- 箱根・仙石原エリアのホテル敷地内に、増設したヴィラの設計・施工管理・FF&Eの調達を受注
雄大な自然を五感で堪能できる空間を演出



完成日：2024年8月1日

場 所：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1286-116

※箱根ガラスの森美術館すぐ

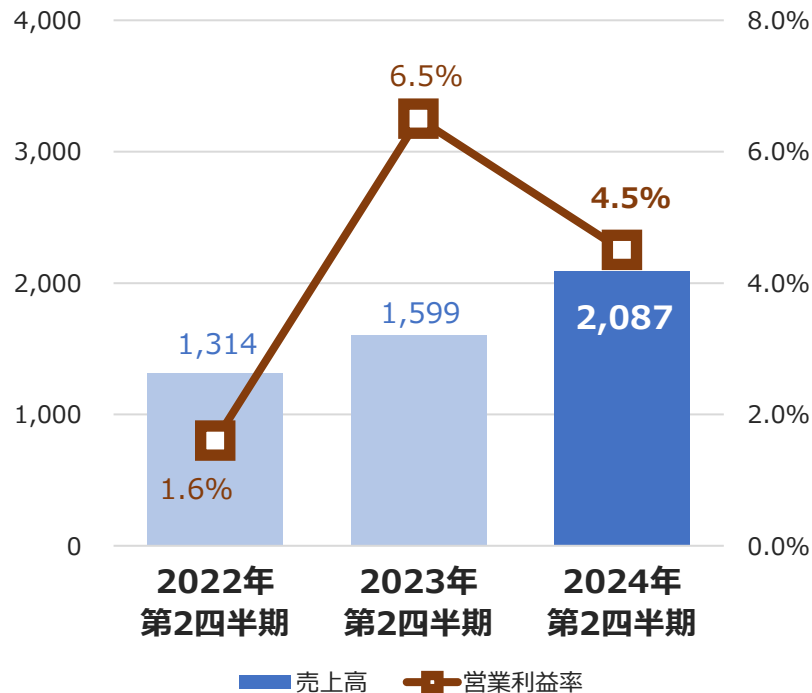
https://www.hakone-retreat.com/villa_info/new_villas/

セグメント業績 ④物販事業

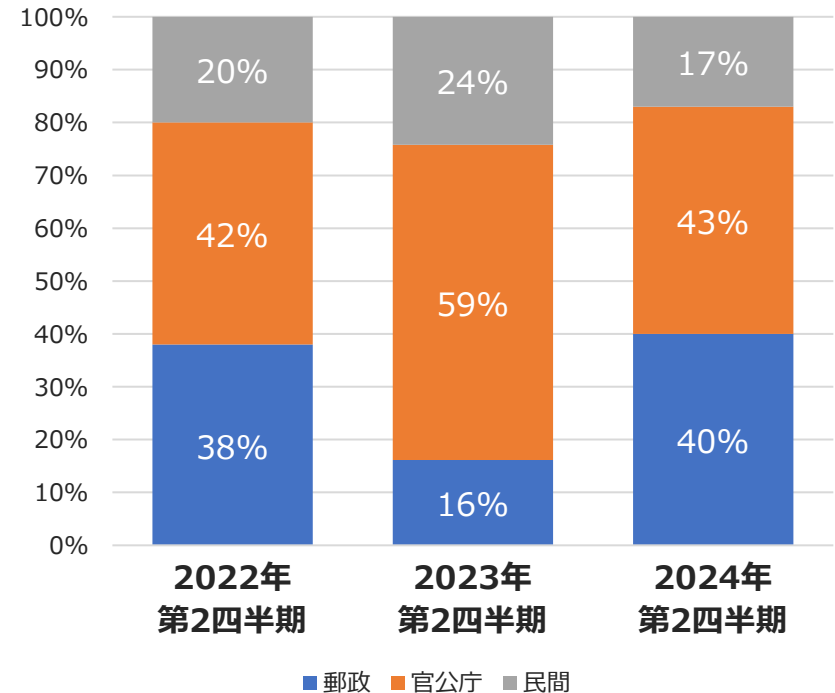
- ▶ 地方自治体の庁舎移転に伴う役務の提供や、各省庁へのFF&Eの販売により増収
- ▶ 利益率の低い大型案件の受注と、人件費等の販管費の増加により利益率が低下

売上高・営業利益率（第2四半期）

(単位：百万円)



セグメント別売上比率



- 日鉄興和不動産グループの赤坂インターシティマネジメントが運営する、会議施設（アンフィシアター）の備品を更新



納品日：2024年6月

場 所：東京都港区(赤坂・虎ノ門エリア)

URL：<https://www.intercity-air.com/>



2024年12月期 第2四半期 連結業績 (B/S)

(単位：百万円)

		2023年12月期末		2024年12月期 第2四半期		対前年度期末比	
		実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
資産	流動資産	9,257	48.1%	8,352	45.0%	△904	△9.8%
	固定資産	10,006	51.9%	10,223	55.0%	216	2.2%
	合計	19,263	100.0%	18,576	100.0%	△687	△3.6%
負債	流動負債	8,711	45.2%	7,680	41.3%	△1,030	△11.8%
	固定負債	776	4.0%	729	3.9%	△46	△6.0%
	合計	9,487	49.3%	8,410	45.3%	△1,076	△11.4%
純資産	株主資本	9,599	49.8%	9,990	53.8%	390	4.1%
	その他	176	0.9%	175	0.9%	△1	△0.6%
	合計	9,776	50.7%	10,165	54.7%	389	4.0%

2024年12月期 第2四半期 連結業績 (C/F)



(単位：百万円)

	2023年12月期 第2四半期	2024年12月期 第2四半期	対前年同期比	
			増減額	増減率
営業キャッシュフロー	1,356	1,797	441	32.5%
減価償却費	871	1,068	197	22.6%
法人税等の支払額	△225	△ 630	△404	179.3%
投資キャッシュフロー	△760	△ 1,346	△585	77.0%
フリーキャッシュフロー	596	451	△144	△24.3%
財務キャッシュフロー	△687	△ 905	△217	31.6%
現預金等残高	2,286	2,477	190	8.3%

1. 2024年12月期 第2四半期 決算概要 P2
2. 2024年12月期 通期業績予想 P21
3. トピックス P26

レンタル関連 事業

【建設現場向け市場】

- ・価格競争から脱し、戦略商品を強化
- ・サステナブルな物流を目指し、AIを活用した配車システムを稼働

【イベント向け市場】

- ・戦略商品の投入によるレンタル売上比率の向上（利益率の改善）
- ・「関西万博」プロジェクトチーム発足による受注活動の強化

【法人向け市場】

- ・BPO案件に対し、価格戦略を含む競合対策の実施

【常設オフィス市場】（移転、片付け、リユース販売等）

- ・オフィス移転に関わるワンストップサービスを強化
- ・高品質リユース品の販売促進

ICT事業

- 外部との業務提携によるセキュリティビジネスの強化
- イノテックスビジネスソリューションズの顧客を対象にICTサービス拡大

スペースデザイン 事業

- マンションギャラリーのシアタールーム等、イメージングビジネス拡大
- 店舗やホテルなど、新規案件を獲得
- 「関西万博」のパビリオン(ベルギー館)が年内に施工完了

物販事業

- 官公庁および自治体に対してオフィスソリューションを強化
- 民間企業のオフィス需要を獲得

2024年12月期 通期業績予想 (P/L)

(単位：百万円)

	2023年12月期		2024年12月期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	30,960	100.0%	31,000	100.0%	39	0.1%
売上総利益	12,526	40.5%	12,880	41.5%	353	2.8%
販管費	10,083	32.6%	10,280	33.2%	196	2.0%
営業利益	2,443	7.9%	2,600	8.4%	156	6.4%
経常利益	2,478	8.0%	2,600	8.4%	121	4.9%
当期純利益	1,604	5.2%	1,650	5.3%	45	2.8%
ROE	17.9%	—	15.8%	—	—	—
EPS	296.38	—	301.54	—	—	—
EBITDA	4,271	—	4,500	—	228	5.4%

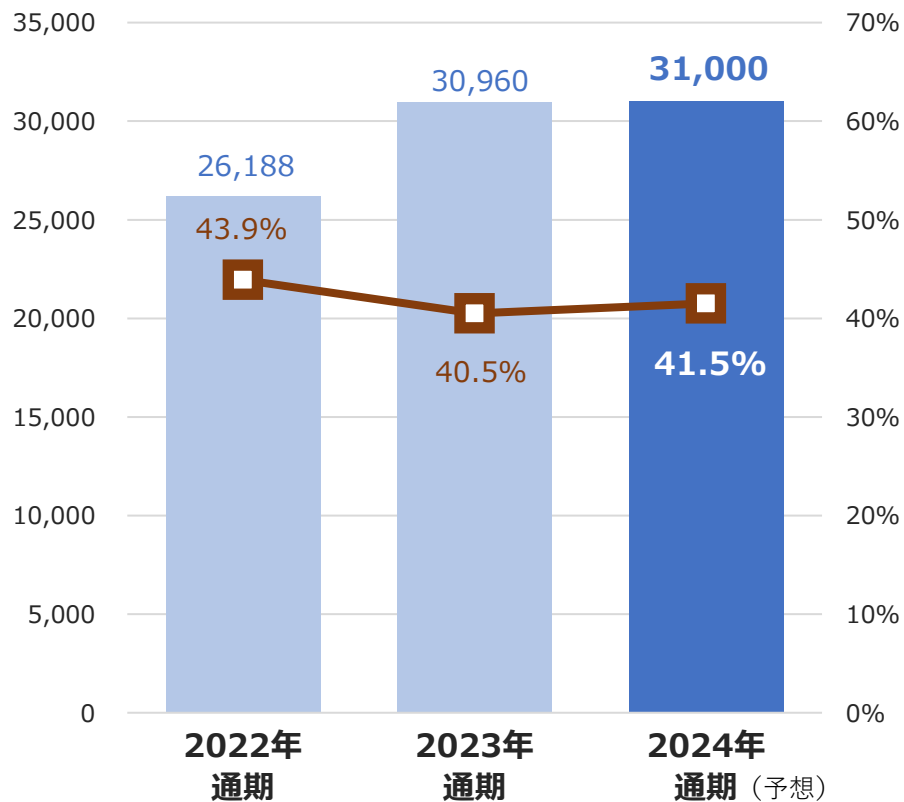
2024年2月13日対外発表見通しから変更なし

上記の業績予想は本資料の発表前において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2024年12月期 通期業績予想グラフ

売上高・売上総利益率

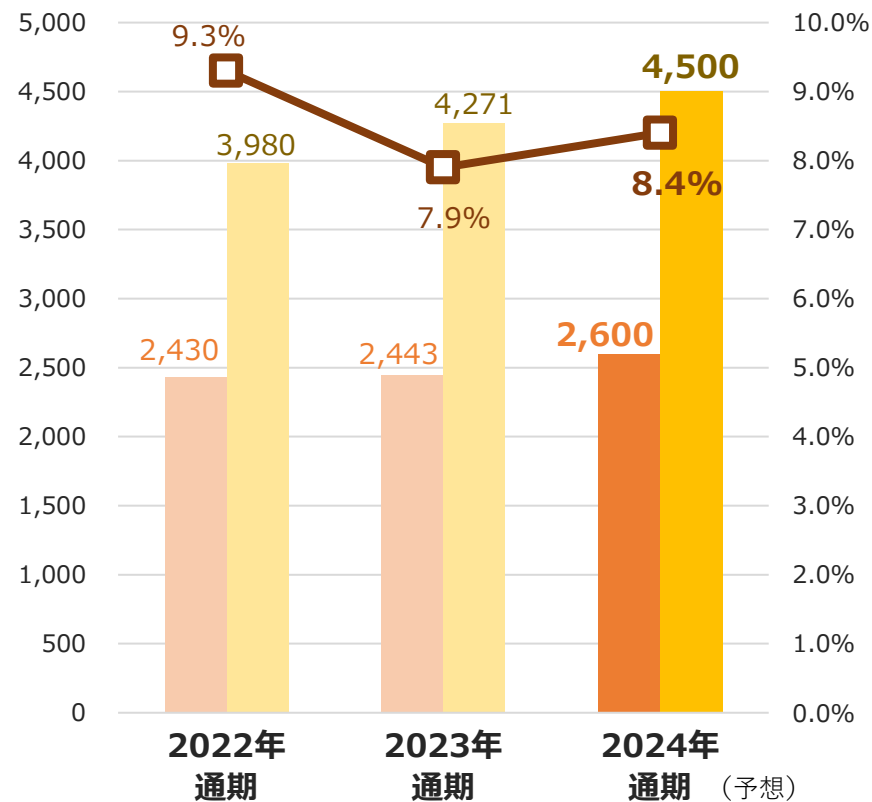
(単位：百万円)



■ 売上高 ■ 売上総利益率

営業利益・EBITDA・営業利益率

(単位：百万円)



■ 営業利益 ■ EBITDA ■ 営業利益率

2024年12月期 セグメント別業績予想 (変更なし)

(単位：百万円)

	2023年12月期		2024年12月期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	30,960	100.0%	31,000	100.0%	39	0.1%
レンタル関連事業	18,361	59.3%	18,800	60.6%	438	2.4%
ICT事業	3,912	12.6%	4,200	13.5%	287	7.3%
スペースデザイン事業	4,983	16.1%	5,200	16.8%	216	4.3%
物販事業	3,702	12.0%	2,800	9.0%	△902	△24.4%
営業利益	2,443	100.0%	2,600	100.0%	156	6.4%
レンタル関連事業	1,777	72.8%	1,830	70.4%	52	2.9%
ICT事業	413	16.9%	540	20.8%	126	30.5%
スペースデザイン事業	179	7.3%	190	7.3%	10	6.0%
物販事業	72	2.9%	40	1.5%	△32	△44.5%
営業利益率	7.9%	—	8.4%	—	—	—
レンタル関連事業	9.7%	—	9.7%	—	—	—
ICT事業	10.6%	—	12.9%	—	—	—
スペースデザイン事業	3.6%	—	3.7%	—	—	—
物販事業	1.9%	—	1.4%	—	—	—

1. 2024年12月期 第2四半期 決算概要 P2
2. 2024年12月期 通期業績予想 P21
3. トピックス P26

新中期経営計画

Next
Evolution 26

ESG経営を深化する**新規事業の創出と経営基盤の強化**に取り組むとともに、将来に向けた**人的資本の充実**を着実に推進する

実効性ある施策の立案と持続的運用により人的資本の充実を図る

人的資本の充実の取組事項

1

より公平で納得度の高い人事制度の再構築

2

教育体系の整備と実施内容の充実

3

誰もが働きやすい環境・風土の醸成

人的資本の充実 ～社内におけるAI活用人材の育成を開始～

中期経営計画「Next Evolution 26」に基づき、継続的な人的資本への投資として、3年計画でAI人材の育成を実施。グループ各社の役員、一般社員(約800名)を対象に2024年8月より導入開始。



【研修内容】

DX・AI活用人材育成研修

【受講時間】

30時間（10時間×3部）（導入編/応用編/発展編の三部構成）

【実施方式】

eラーニング

【実施時期】

2024～2026年に全員受講



「2025年大阪・関西万博」概要

テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives (いのちを救う) Empowering Lives (いのちに力を与える) Connecting Lives(いのちをつなぐ)
コンセプト	-People's Living Lab- 未来社会の実験場
開催期間	2025年4月13日(日)～10月13日(月) 184日間
開催地	大阪湾の人工島・夢洲(大阪市)
来場見込 (来場者数)	2,820万人
参加国	161か国・地域、9国際機関 (2024年3月14日現在)
会場面積	155ヘクタール
建設費	1,250億円
運営費	820億円



いっしょに、いこう！
大阪・関西万博

2025年大阪・関西万博 がめざすもの

持続可能な開発目標 (SDGs) 達成への貢献
日本の国家戦略Society5.0の実現



当社グループと万博関連の実績



レントリアグループの豊富な実績

愛知万博ではオフィス事務所やパビリオン、メディアセンターにおいて来場者の誘導や会場のゾーンニング用備品を納品。また海外の万博では日本館のバックオフィスにおけるFF&Eにて寄与

「関西万博」の受注拡大に向けた体制の強化および受注後のオペレーション業務の円滑な運営を目的に、プロジェクトチームを設置。

- 設置場所：「コユーレンティア 新橋オフィス」
※今後、関西支店または現地サテライトオフィスへ移転予定
- プロジェクトメンバー：約100名
- 設置期間：2024年7月1日～2025年12月31日（予定）

建設現場向けFF&Eレンタル



FF&E
レンタル

パビリオン（ベルギー館）の設計・施工管理



設計・
施工管理
内装工事

グループ
総合力

大阪南港の複合型大型モールにリスタATCを開設



FF&Eの
リユース販売
買取

ICT機器のレンタルやネットワーク構築



ICTサポート
ネットワーク
構築

免責事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なることが起こりえます。

今後、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載内容の更新・修正を負うものではありません。

コーユーレンティア株式会社
IR広報室
Email : ir@koyou.co.jp
<https://www.koyou.co.jp/ir/>